

令和 6 年度

第 1 回進路説明会資料

令和 6 年 7 月 5 日（金）

目次

1. はじめに	1
2. 進路の選択	2
3. 年間の流れ・進路指導計画	4
4. 高等学校の紹介	5
5. 推薦入試	6
6. 一般入試	9
7. その他（卒業生の進路状況 進路関係の言葉の説明 奨学金のお知らせ）	12



昭島市立昭和中学校

年 組 番 氏名

1. はじめに

中学校最上級学年となり、卒業後の進路選択に取り組む時期が来ました。保護者の皆様にとって、生徒の可能性に期待すると同時に不安や心配も多いと思います。生徒自身にとっても、自分の実力を知り現実の厳しさに直面するこれまでにない節目の年になるでしょう。自分の力を発揮して充実した生活を過ごすために、保護者の方のご協力が大きな力になると思います。

進路選択は、将来の自己実現の第一歩です。将来の夢や希望を育みながら、生徒自身が自分の適性を見つめ、進学・就職先の特色をよく調べた上で、はっきりした目的意識を持ち進路選択ができるように支援していきたいものです。それにはご家庭での話し合いや、担任との率直な情報や意見交換がとても大切になります。そして何より、不安を感じ悩みながらも自分の意志で進路を選択し決定したということが、生徒自身の大きな成長へつながると思います。進路選択をそうした成長のきっかけと考え、実り多い義務教育の集大成の年となるよう共に力を合わせていきましょう。

3 学年の進路指導の方針

(1)進路指導は学年教職員全員で行い、進路は生徒・保護者の意志で選択します

進路については、担任や3学年職員はもちろん学校全体として、生徒・保護者の意向をもとに、助言をして進路相談をします。ご家族で検討の上、進路を選択します。

(2)普段の学校生活を大切にします

1年時より、日常生活を大切に指導して参りました。進路を選択する3年生となった今年度もぶれることなく、1日1日の授業や生活を大切にさせたいと考えています。さらに、行事や生徒会活動などに生徒が主体的に取り組み、学年の仲間、学校の仲間に貢献することの喜びを感じ、自信をもって新たな道を切りひらけるように、励ましていきます。

(3)進路情報を伝えます

今後、学年だより『Diversity』の中で、進路に関わる知識や進路関係の配布物、連絡等を掲載していきます。また、3学年のフロアにある進路相談室では、学校のパンフレットや、説明会の情報などを掲示しています。ご活用ください。

【最近のトピック】

- ・私立高校授業料負担軽減制度
- ・都立高校 PR サイト「#だから都立高」リニューアル
- ・英語スピーキングテスト (E-SATJ YEAR3) 保護者マイページの作成
- ・男女合同選抜、インターネット出願・合格発表の全校実施 (推薦、一次)

<ご家庭へのお願い>

「どの高校に行くか」ではなく、「将来どのように生きていくか。そのためにはどのような進路があるか。」
「自分の進路を実現するために、今何をしなければならないか。」という考え方で、進路選択について、お子様と保護者の方でよく話し合ってください。ご家庭での十分な話し合いの積み重ねの上で進路が決まっていきます。また、ご家庭での学習環境作り・生徒の健康管理・高等学校（進路先など）の説明会への参加等よろしくお願い申し上げます。

2. 進路の選択

●二つの進路

中学校卒業後の進路を大まかに二つに分けるとしたら、上級学校に進学するか、就職するかになります。就職する場合は進学以上に社会的な責任や能力が問われることを意識してください。自分がどんな職業に就きたいか、またどのような進路に進みたいかを考えるときに、「〇〇君が行くから自分も行く。」「試験がないから〇〇高校へ行く。」「まだ仕事をしたくないから高校に行く。」ではなく、自分の進路について明確な目的や目標をもって前向きに、自ら決めましょう。

(1) 就職する場合

社会に出て働く場合も理由や目的をよく考える必要があります。中学校卒業後すぐに就職する場合には、職種や求人数に限りがあり、就職状況はきわめて厳しいのが現状です。働きながら、その職場に必要な資格や能力を身につけることができるのかどうかといったことも考えることも必要です。また企業内学校、定時制高校などの進学と合わせて働くこともできますので、担任とよく相談してください。

就職は、ハローワーク（公共職業安定所）を通す場合と縁故就職（親族などの斡旋）とがありますが、就職後、もしトラブルなどが発生した場合のことを考えるとハローワークを通したほうがよいでしょう。

＊毎年9月より就職相談が始まります。書類提出は12月の半ば、選考日は1月上旬です。早めに準備しておきましょう。

ハローワーク立川（公共職業安定所）

求人情報や職場訪問、希望する職業・企業への応募などは、中学校がハローワークと連絡を取り合っています。

縁故就職

知り合い（親・兄弟・親戚）などを通じて就職するものです。

企業内学校

特定の企業に就職するために必要な知識や技術を身につける学校で、卒業後はその企業の社員として採用されます。日野自動車株式会社の日野工業高等学園などがあります。

職業能力開発センター（職業訓練）

職業に必要な知識と技術を身につけることを目的としています。溶接など専門分野を一定期間（6か月・1年）学びます。終了後はハローワーク・専門校で就職を斡旋してくれます。

(2) 進学する場合

① 進学する理由

進学する場合にもその理由や目的をよく考える必要があります。なぜこの学校へ行くのか、何を学びに行くのかといったことをよく考えましょう。たとえば医者になりたいという希望を持っている人は高校を卒業し、大学の医学部に進学しなければなりません。将来の自分を見据え、現在の自分の希望を十分に考慮して学校選択をしていきましょう。

② 自分にとっての良い学校

できるだけ良い学校にいきたいという人がいます。そもそも良い学校とはどんな学校ですか。入学試験の合格点の高い学校、または部活動が盛んで強い学校ですか。例えば自分の今の力よりも高い成績の学校に入学したとします。今まで以上に頑張って自分の力をさらに伸ばすことができるのであれば良い学校といえますが、毎日の勉強が大変で、授業に追いつくことができず、やる気をなくしてしまうのでは、必ずしも良い学校とはいえないでしょう。また、部活動の盛んな学校も活動に興味や参加する意志があまりなければ、良い学校といえるか分かりません。自分の適性ややりたいこと、学習形態や内容、また校則や学校の雰囲気、施設、設備など様々な角度から「自分にとっての良い学校」について考え、選択していただくことが必要です。

③その他の条件

授業料、奨学金制度や特待生制度の有無、大学の附属、推薦指定校であるかどうかといったこと、カリキュラムや進路実績の検討、進学率、就職先、学校の地域、環境、通学時間なども考慮しましょう。

受験料や授業料について（令和7年度「東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」より抜粋）

都立高校						
＊入学料とは別に、学校ごとに決定した修学旅行等積立金、生徒会費、定時制の給食費の学校徴収金があります。						
＊入学料及び授業料の納入が経済的に困難な家庭については、免除又は2分の1に減額する制度があります。						
		入学考査料	入学料	授業料(年額)	納入回数	1回の納入額
高等学校	全日制	2,200円	5,650円	118,000円※1	2回	第1回：
	定時制	950円	2,100円	32,400円		年額の3／12
	単位制	950円	2,100円	1単位当たり1,740円×履修単位数		第2回：
	通信制	950円	500円	1単位当たり 336円×履修単位数		年額の9／12
私立高校（平均的な額です）						
		入学考査料	入学料	授業料年額	設備費など	
		20,000円 ～	250,000円～	350,000円～	200,000円～	

※1平成26年4月1日から、高等学校等就学支援金制度が導入されました。

3. 年間の流れ・進路指導計画

学期	学習・進路選択の重点	月	進路関係の日程	主な学校行事
1 学 期	学習 基礎学力の充実 ・1, 2年の復習 ・苦手教科の克服 ・授業の完全理解 ・定期テスト対策	4月	・進路に関するガイダンス ・全国学力調査[18(木)] ・第1回実力テスト[30(火)]	・保護者会[20(土)]
		5月	・英語「話すこと」調査[17(金)]	
	進路選択 おおまかな方向を決定する ・就職するか、進学するか ・進学の場合、校種、課程、学科などの決定 ・進路情報の収集	6月	・上級学校ガイダンス、訪問 ・第2回実力テスト[7(金)]	・体育祭[1(土)] ・期末テスト[19(水)～21(金)]
		7月	・第1回校内推薦委員会 [1(月)] ・<u>第1回保護者進路説明会</u>[5(金)] ・<u>第1回進路希望調査</u> ・<u>第1回三者面談</u>[8(月)～12(金)]	・1学期終業式[19(金)]
夏 休 み	学習 基礎学力の確認 ・基礎問題練習、宿題等	8月	・進路実現にむけて各自で力をつけてください。	
2 学 期	学習 応用力の養成 ・応用問題練習 ・授業の完全理解 ・定期テスト、実力テスト対策 ※定期テスト対策を重視しながら、問題練習などを計画的におこなう。	8月		・2学期始業式[30(金)]
		9月	・ <u>第2回進路希望調査</u>	・中間テスト[26(木)～27(金)]
		10月	・第3回実力テスト[3(木)] ・<u>第2回保護者進路説明会</u>[15(火)] ・<u>第3回進路希望調査</u> ・第2回校内推薦委員会[28(月)]	・修学旅行[11(金)～13(日)] ・音楽祭[31(木)]
	進路選択 具体的な進路先の決定 ・進路情報の収集 ・具体的な事業所、学校など、進路先を決定する。 ・進学希望の場合、第二志望の学校も含めて受験パターンを決定する。	11月	・都立高校等合同説明会立川[4(月)] ・<u>第2回三者面談</u>[5(火)～12(火)] ・受験写真[15(日)(金)] ・第4回実力テスト[18(月)] ・英語スピーキングテスト (ESAT-J YEAR3) [24(日)] ・<u>第4回進路希望調査</u>	・期末テスト[13(水)～15(金)]
		12月	・<u>第3回三者面談</u>[2(月)～6(金)] ・推薦・併願優遇願い配布 ・推薦・併願優遇願い提出 ・推薦受験者面接練習 ・私立高校入試相談[15(日)～] ・面接練習(校長・副校長先生)	・2学期終業式[25(水)]
3 学 期	学習 直前の整理、確認 ・今までの学習内容の整理 ・基礎的事項の再確認 ※体調のコントロールにも配慮して最後のまとめをしっかりおこなう。	1月	・面接練習(校長・副校長先生) ・私立高校推薦出願・入試・発表 ・都立高校推薦出願[～16(木)] ・都立高校推薦入試[26(日)27(月)] ・私立高校一般出願 ・都立高校推薦発表[31(金)]	・3学期始業式[8(水)]
		2月	・都立高校一次出願[～5(水)] ・私立高校一般入試・発表 ・都立高校一次入試[21(金)]	・期末テスト[25(火)～27(木)]
	進路選択 出願書類等の準備	3月	・都立高校一次発表[3(月)] ・都立二次出願[6(木)] ・都立二次入試[11(火)] ・都立二次発表[14(金)] ・都立定時二次出願[24(月)]	・卒業式[18(火)]

※予定は変更になる可能性があります。

4. 高等学校の紹介

(1) 都立高校

ここ数年次々と改革を行い、随分変わってきています。都立高校は規則が比較的ゆるやかというイメージかもしれませんが、最近は身だしなみ等、生活指導が厳しくなっている学校もあります。また逆に生徒の責任と自由を尊重し、服装が自由な学校もあります。都立高校といってもさまざまですから、説明会や授業公開・体験入学など参加してみることで、また文化祭などで学生の様子や学校の雰囲気を自分の目で見るのが大切です。

チャレンジスクールや**エンカレッジスクール**、**単位制**の高校など特色のある高校もあります。（本資料13ページ「進路関係の言葉の説明」参照）また、統廃合や改編される高校もあります。入試制度上でも、自己PRカードは現在、点数化することがなくなりました。

これらの点は今週初めに生徒に配布した「東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」に詳しく載っています。また、今年度の都立高校の入試詳細につきましては、11月上旬に「東京都立高等学校等募集案内」が発行されますので、それをもとに中学校では第2回進路説明会を行います。

なお、都立高校と他県の公立高校を同時に受検することはできません。中学を卒業した後に転居などで住所が移るときは、東京都以外の公立を受けることができます。転居などで他県を受検するときは早めにお申し出ください。都立高校の願書は中学校で配布します。（一部の定時制都立高等学校を除く）

全日制 定時制 通信制

- 全日制 … 朝から午後までの日中に授業があります。
- 定時制 … 夜間、その他定められた時間帯に授業があります。全日制と併設されていて、近隣の定時制高校には、青梅総合高校・福生高校・五日市高校・立川高校があります。昼夜間定時制には砂川高校・八王子拓真高校などがあります。
- 通信制 … 自宅等で学習し、レポートなどの添削指導を受けながら、定められた日に登校し面接指導を受けます。近隣の通信制高校には、砂川高校などがあります。

普通科 その他の学科について

都立の場合は主に次のような学科があります。「東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」参照

普通科	普通教科を中心に学習します。コース制も含まれます。
商業に関する学科	経理、情報処理など商業の専門的知識・技術を身に付けます。
工業に関する学科	工業の各分野の専門的知識・技術を身に付けます。他にデュアルシステム科もあります。
家庭に関する学科	家庭に関する食物・保育などの知識・技術を身に付けます。
農業に関する学科	栽培や飼育を通し、専門的知識・技術を身に付けます。
芸術に関する学科	音楽や美術を通し、芸術に関する知識・技能を身に付けます。
福祉に関する学科	病院・福祉施設などで実習しながら、人間尊重の精神を身に付けます。
水産に関する学科	海洋について様々な視点から学び海洋課題に対応できる人材を育成します。
家庭に関する学科	衣食住、保育、看護や介護などの知識や技術を身につけます。
体育に関する学科	体育・スポーツを通し、専門的知識・技能を身に付けます。
国際に関する学科	国際理解を通し、国際感覚と外国語の能力を身に付けます。
総合学科	幅広い選択科目を通し、系統的、専門的に学習します。
併合科	二つの学科を併合した学科を学習します。
ビジネスコミュニケーション科	英語や実践的なビジネス科目を学び、社会科学系・人文科学系の進学を目指します。
情報に関する学科（定時制）	情報の各分野に関する知識と技術を習得します。
理数に関する学科	理数系の幅広い素養と情報活用能力でイノベーションを生み出す人材を育成する。
産業科	生産・流通・消費の各過程の関連性を学びます。
科学技術科	科学技術高校にあり、科学や技術について幅広く学びます。

高等専門学校

工業に関する専門的な知識を学ぶことを目的とし、5年間で卒業します。工業高等専門学校と商船高等専門学校があります。国立東京工業高等専門学校（八王子市）、都立産業技術高等専門学校（品川キャンパス・荒川キャンパス）、私立には、サレジオ工業高専（町田市）があります。卒業後同じ専門学科のための大学（3年生）に編入することもできます。詳細は、ホームページ等をご覧ください。

(2) 私立高校

校風や規則は多種多様で特色のある学科も設置されています。男子校や女子校もありますが、共学校が増えました。制服がある高校がほとんどで、規則や生活指導面で厳しい学校も多くあります。また、部活動に力をいれ、特色にしている学校もあります。

授業内容はさまざまで、1・2年生から進路別の文系・理系などのコースに分けたり、習熟度別授業をしたりする場合もあります。また、大学進学指導を徹底している学校もあります。大学の附属高校では、成績によって大学への優先入学が可能な場合があります。見学の際によく確認してください。学費、制服や学習に必要なもの、修学旅行代などを含め、ご確認ください。

校風に特色があるので、志望する場合はその学校が自分に合っているかどうかをよく見極めることが大切です。学校ごとに特色があるので、良く調べ、見学会や説明会に参加することを勧めます。推薦入試を希望する場合は、保護者とともに説明会に参加することが重要です。その際、個別相談を実施している学校もあります。1学期の評価を参考に相談してみてください。

(3) その他

高等専修学校

職業や生活に必要な技術や知識を身につけることを目的とする学校です。中学校卒業以上の人を対象にしたものに高等専修学校があります。専修学校の修業年限はコースによって異なり、1年～5年までいろいろあります。

①高等専修学校で学べる学科

医療関係	准看護科	福祉関係	福祉科
服飾家政関係	家政科 服飾科 ファッションデザイン科	工業関係	自動車整備科 建築科 電気工事士科
文化教養関係	英語科 芸術科	商業実務関係	情報処理科 実務管理科
衛生関係	調理師科 理容・美容科		

②高等専修学校を修了したとしても、高校卒業の資格を取れるわけではありません。そこで多くの高等専修学校では通信教育課程や夜間課程をもつ高校と連携し高卒の資格が取れるようになっています。例：大竹高等専修学校・武蔵野東技能高等専修学校・野田鎌田学園杉並高等専修学校・府中看護高等専修学校・東放学園高等専修学校など

サポート校

通学をして通信制の高校の学習を援助してくれる学校です。また「高等学校卒業程度認定」合格のための援助をしてくれるサポート校もあります。

※学校説明会、授業体験、部活動体験、都立高校自校作成問題講習会、行事の見学、個別相談などが実施される場合には事前予約が必要となることも考えられます。詳細についてよく調べてから参加をしてください。

5. 推薦入試

(1) 推薦

「都立推薦」または「私立推薦」を考えている人は中学校の推薦が必要です。都立高校希望の人は受検機会が増えるという理由で、希望する人もいます。その際、下記に記載しました昭和中学校の推薦規準を、よくお読みください。また、今の時点で推薦を考えていなくても、今後推薦を希望する場合も考えられます。「推薦」の趣旨をよく理解し、三者面談の際に担任の先生とよく相談して、今後の方針を決めてください。

具体的には、第1回三者面談を終え、複数の学校について調べ、志望校を決めていきましょう。第2回三者面談では、より具体的な進路の方向性を担任の先生と確認してください。その際、推薦希望がある場合は、必ず伝えてください。その意志を確認して、ご家族に『**推薦希望願い**』をお渡しします。用紙に必要事項を記入して、提出してください。

提出に合わせて、下記の昭和中学校の推薦基準に沿って校内推薦委員会（校長・副校長・教務主任・生活指導主任・保健主任・進路指導主任・各学年主任・3学年進路担当）で検討し、判定をします。そのため、「推薦希望願い」が提出されていない場合は、校内推薦委員会で判定することができませんので予めご了承ください。

（２）昭和中学校の推薦基準

社会と学校生活のルールにのっとり

1. 進路先が求める人物像に合致し、進路先の選抜の基準やその他の条件を満たしていること。
2. 志望動機が明確で、合格したら必ずその学校に入学すること。

※上記に照らし、校内推薦委員会を経て学校長が推薦する。

（３）都立高校の推薦入試

①推薦に基づく入試（一般推薦、文化・スポーツ等特別推薦）

願書受付	令和7年1月9日（木曜日）～16日（木曜日）
面接・実技検査等	令和7年1月26日（日曜日）・27日（月曜日）
合格発表	令和7年1月31日（金曜日）
検査内容	・選考については、調査書点のほか個人面接、小論文又は作文の点数によるほか、実技検査、その他学校が設定する検査の各点数を総合した成績でおこないます。（集団討論を実施しない学校もあります。小論文又は作文、実技検査等から1つ以上実施します。） ・推薦に基づく入試では、必ず面接を実施します。 ・面接や小論文の内容については、各学校で定めています。 ・推薦入試の募集人員については、11月上旬に発表になります。 ・自己PRカードは、出願の際に提出します。
条件	・中学校長の推薦を受けた者。 ・その高校を第一志望として、合格したら必ずその高校に入学する者。 ・その高校の教育方針を十分に理解し、各高校の示す推薦基準・期待する生徒の姿に合う者。
出願書類	一般推薦 一般推薦書(中学校で用紙を準備し作成)・調査書(中学校で作成)・自己PRカード・入学考査料 文化・スポーツ等特別推薦 文化・スポーツ等特別推薦書(中学校で作成)・入学願書・調査書(中学校で作成)・自己PRカード・入学考査料・志願者の活動の実績等を証明する書類等の写し（昨年度は不要） ・同じ高校の一般推薦に同時に出願ができます。 理数等特別推薦 理数等特別推薦書(学校所定の様式)・入学願書(学校所定の様式)・調査書(中学校で作成)・自己PRカード・入学考査料・科学分野等の研究に関するレポート ※上記は昨年度までのもので、今年度の要領については今後公表されます。

②推薦の選抜方法

選考は **調査書** + **面接** + **小論文 又は 作文** + **実技検査** + **その他学校が設定する検査の点数** = **総合成績**
(個人 + 集団討論(*実施しない学校もあります))

で、総合成績の高い順に選抜されます。(小論文・作文・実技検査・その他学校が設定する検査は各学校が1つ以上を選んで実施します。)

○調査書について

調査書は調査書点として点数化されます。評定を用いるか、観点別の評価(たとえば、Aは10点、Bは3点、Cは1点)を用いるかは学校によって異なります。

○自己PRカード

推薦入試では、すべての受検生が提出します。文字通り、自己をPRするもので、「**志望理由について**」「**中学校生活の中で得たことについて**」「**高等学校卒業後の進路について**」の3点について記入します。面接などの資料になります。

○推薦の種類 (詳細は、冊子「東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」)

「一般推薦」と「文化・スポーツ等特別推薦」「理数等特別推薦」の3種類があります。

(4)私立高校の推薦入試

①一般推薦

願書受付	1月上旬～中旬ごろ
学力検査等	1月中旬ごろ
合格発表	1月下旬ごろ
検査内容	・各高校によって違いがありますが、面接・小論文又は作文はほとんどの場合実施されます。実技や学力検査があるところもあります。
条件	・中学校長の推薦を受けた者。 ・その高校を第一志望として、合格したら必ずその高校に入学する者。 ・その高校の教育方針を十分に理解し、各高校の示す推薦基準に合う者。 ・意欲があり、人物・健康・出席状況などが良好の者
出願書類	・推薦書(中学校で作成)・入学願書(本人が作成)・調査書(中学校で作成) ・受験料(保護者が払い込み)
その他	・高校の窓口での購入、書店での取り扱い、web上での取り扱い等、様々あります。詳しくは、受験する学校のホームページ上にある入試情報をご確認ください。

②推薦の選抜方法

高校の教員と中学校の教員の間で、本人の希望と志望する高校の基準を確認し、相談することを**入試相談**といいます。私立高校の推薦は、12月中旬に行われるこの入試相談を通すことが必要です。各高校の示す推薦基準と志願者の調査書の成績を照らし合わせ、判定を受けます。それを受けて1月に推薦入試が実施されます。**合否の判定は書類選考・面接・論文又は作文が基本です。合格した場合は必ずその高校に入学することが条件です。**

例：T高校 内申3科(国・数・英) 12以上かつ5科17以上。9科に1がないこと。

3年次の欠席が4日未満、英検・数検・漢検の3級で1点加算、準2級で2点加算など

※各高校によって条件が異なりますので、必ず各家庭でご確認ください。

6. 一般入試

(1) 都立高校

①学力検査に基づく入試（第一次募集・分割前期募集）

願書受付	令和7年1月30日（木曜日）～2月5日（水曜日）
学力検査等	令和7年2月21日（金曜日）
合格発表	令和7年3月 3日（月曜日）
検査内容	・選考については、調査書及び学力検査の点数によるほか、面接や小論文又は作文、実技検査を実施する学校では、これらを総合した成績でおこないます。 ・面接、小論文又は作文、実技検査の満点は、学校によって異なります。 ・受検教科は、原則として国語、数学、英語、社会、理科の5教科を実施します。（ただし、芸術及び体育に関する学科についてはこれに当てはまらない場合があります。また定時制課程については、5教科の中から3教科以上を実施します。どの教科を実施するかは各学校が決め、面接を必ず実施します。） ・学力検査の得点と調査書点との比率は原則7:3になります。（ただし、芸術及び体育に関する学科についてはこれに当てはまらない場合があります。また、定時制課程については7:3又は6:4のどちらかを各学校が定めます。） ・学力検査において、あらかじめ学校が指定する教科の配点に比重をかけた「傾斜配点」を実施する学校もあります。例えば、英語が2倍の場合、100点満点が200点満点になります。 ・全日制高校のうち11校では、自校で作成した学力検査問題(国語・数学・英語)と都立高校共通問題(社会、理科)で学力検査を実施します。
出願手続き	・調査書(中学校で作成)・入学考査料・自己PRカード(面接をおこなう学校)
その他	・全日制課程は出願後1回に限り志願変更できます。定時制は変更できません。 ・自己PRカード・入学考査料納付書の用紙は中学校で配布します。 ・面接をおこなわない学校は、合格後自己PRカードを提出する。 ・今年度も全学校でインターネット出願が実施される予定です。今年度の要領については、今後公表されます。

②学力検査によらない入試

- エンカレッジスクールでは、学力検査を行わず、調査書、面接、小論文及び実技検査の結果を総合した成績で選考をおこないます。（東京都立高等学校に入学を希望するみなさんへ、参照）
- チャレンジスクールでは、学力検査及び調査書を用いず、自己PRカードに代えて志願申告書、面接及び作文により選考をおこないます。（願書は各高校にて、独自に入手が必要です。）

③学力検査に基づく入試（分割後期募集・第二次募集）

第二次募集

- 第一次募集後、募集定員に達しない学校では、第二次募集をおこないます。

分割後期募集

- 都立高校の全日制課程には、募集人員を分割し、第一次募集期間の入試(分割前期)・第二次募集期間の入試(分割後期)の2回に分けて募集をおこなう学校があります。（令和6年度入試…全日制21校）
- 全日制課程の分割後期の学力検査では原則、国語、数学、英語の3教科を実施します。また学力検査と調査書点の比率は原則6:4になります。なお定時制課程でも、チャレンジスクールの六本木高校、大江戸高校、世田谷泉高校、稔ヶ丘高校及び桐ヶ丘高校、昼夜間定時制高校の一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校（一般枠）砂川高校及び六郷工科高校は、分割募集を実施しました。

④学力検査一次・二次の選抜方法

選考は 学力検査 + 調査書 + 英語スピーキングテスト + 面接 + 小論文 又は 作文 + 実技検査 = 総合成績

で、総合成績の順に選抜されます。（面接・作文・実技検査等は実施する学校と実施しない学校があります。）

○調査書について

調査書は調査書点として換算され、点数化されます。推薦と違い、ほぼ全ての高校で５段階評定を使い、学力検査をおこなう教科はそのままの数値、実技４教科(音楽、美術、保健体育、技術・家庭)を２倍した数値を合計して換算し、**65点満点**で算出します。これを**換算内申**といいます。尚、英語スピーキングテストの結果は、20点を満点とし、A～Fの６段階で記載します。

5教科入試

国 数 英 社 理 音 美 体 技家

$$5 + 5 + 5 + 5 + 5 + (5 + 5 + 5 + 5) \times 2 = 65 \text{ 点}$$

○学力検査について

学力検査は５教科が基本ですが、後期・二次等では３教科を実施します。また、エンカレッジスクール（秋留台高校・東村山高校）では学力検査を行いません。（面接・作文・実技検査などで選考）。また社会・理科の学力検査問題は各校共通ですが、国・数・英の問題を自校又はグループで作成する高校もあります。（八王子東高校・国分寺高校・立川高校・国立高校・武蔵高校など、東京都立高等学校に入学を希望するみなさんへ、参照）自校作成問題やグループ作成問題について、説明会をしている学校もあります。

○学力検査と調査書の比率

都立の一般入試は、主に学力検査点と調査書点を合計して合否が判定されます。この合計の比率は原則として全日制の分割前期・第一次募集は**7 : 3**、全日制の分割後期・第二次募集は**6 : 4**となります。**7 : 3**は学力検査点の比率が７割、調査書点が３割ということです。つまり、学力検査点を重視していることになります。

○学力検査点と調査書点を換算して総合得点を出す

学力検査点と調査書点はそのまま合計するわけではなく、上で説明した比率に基づいて1000点満点になるように換算され、英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR3）の結果を合計した1020点満点で換算されます。

＜総合得点＞

7 : 3

700

300

学力検査点 × $\frac{\quad}{\text{学力検査点の満点}}$ + 調査書点 × $\frac{\quad}{\text{調査書点の満点}}$ + ESAT-J YEAR3の結果

6 : 4

600

400

学力検査点 × $\frac{\quad}{\text{学力検査点の満点}}$ + 調査書点 × $\frac{\quad}{\text{調査書点の満点}}$ + ESAT-J YEAR3の結果

5 : 5

（定時制の分割後期・第二次募集など）

500

500

学力検査点 × $\frac{\quad}{\text{学力検査点の満点}}$ + 調査書点 × $\frac{\quad}{\text{調査書点の満点}}$ + ESAT-J YEAR3の結果

* 学力検査点の満点は500点（５教科）、300点（３教科）（傾斜配点の場合は異なります）

* 調査書点の満点は65点

○総合成績について

総合得点に**面接点・作文点** **実技検査点**を加えたものが**総合成績**となります。（面接・作文・実技検査等は実施する学校としない学校があります。）

(2) 私立高校

① 一般入試

願書受付	1 月下旬ごろ（早いところもあります）
学力検査等	2 月中旬ごろ（埼玉県などは 2 月 1 日ごろから）
合格発表	2 月中旬ごろ
検査内容	・ 国語・数学・英語の 3 教科と面接が中心です。
出願手続き	・ 入学願書（ご家庭で作成、受験料の払い込みをします）・調査書（担任記載）
その他	・ 入学願書・調査書などは各高校の窓口で購入します。調査書の用紙は中学校（担任）に提出し、作成してもらってください。 ・ 第一志望や第二志望で入試相談(※)を通っていれば、優遇される高校もあります。 ※本資料 8 ページ参照

② 一般入試の選抜方法

単願・専願等（第一志望）（一般入試日）

都内の私立高校では、一般的に高校と中学校の間で 1 2 月中旬に行われる**入試相談**を通すことが必要です。推薦ではありませんが、その高校を第一志望とし、高校側の推薦基準に満たないときに適用される場合があります。可否の判定は調査書・当日の学力検査の得点・面接が基本です。**合格した場合は、必ずその高校に入学することが条件です。**

併願優遇（第二志望）（一般入試日）

都内の私立高校において、基本的には高校と中学校の間で 1 2 月中旬に行われる**入試相談**を通すことが必要です。その高校を第二志望とし、都立高校（または他の私立高校）を第一志望としているときに適用されます。各高校の示す基準と志願者の調査書の成績をてらして、高校から判定を受けます。高校の示す基準は**高校ごとに異なります**。可否の判定は調査書・当日の入試得点・面接が基本です。合格しても、都立高校の合格発表の翌日まで、入学手続きの費用を延納できるようになっている高校がほとんどです。（延納手続きは学校によって異なります。書類をしっかりと読んでください。）また第一志望の高校に合格したら、私立高校への入学を辞退することができます。しかし、**第一志望が不合格の場合は、必ず第二志望の高校(その高校)に入学します。**

一般受験（一般入試日）

入試相談を通さない受験で、入試当日の学力試験・面接・調査書などで可否が判定されます。推薦制度や第一・第二志望のある学校では、合格基準（当日の入試得点）がより高くなる傾向があります。自由に受ける受験（フリー受験）は、受験日に注意して受験してください。

＊他に、自己推薦などがあります。出願に関する説明書類をよく読んで担任の先生と早めに相談してください。

＊また出願に関する書類は、学科・受験のしかたによっていろいろな種類（いろいろな色の書類）の書類があります。しっかりと読んで、記入を間違えないようにしてください。

＊**私立高校の推薦制度や入試制度はさまざまです。各学校のホームページを確認してください。**

③ 出願について

以前は高校に行って出願する方法や郵送にて出願することが主流でしたが近年変わってきていますので紹介します。

Web 出願(インターネット出願)

パソコンやスマートフォンを利用して出願手続きをおこなう方法です。昨年、ほとんどの学校が導入していました。学校のホームページを見て、受験に向けて準備する必要があります。**出願締切の直前で慌てないように、提出期限と必要書類の内容を確認しましょう。最終的に必要書類は郵送になりますのでご注意ください。**

7. その他

(1) 令和5年度卒業生の進路状況

		合計		合計
都立校	特別支援学校高等部	6	国立・他県公立	1
	普通科	61	私立校	22
	専門学科	16	専修学校・サポート校	
	昼夜間定時制	2	就職	
	通信制	7	未定・その他	
			合計	115

校種	学校名	科・コース	人数
都立	あさる野学園	高等部	3
"	青峰学園	高等部	1
"	東久留米特別支援	高等部	2
都立	秋留台	普通	2
"	青梅総合	総合	2
"	片倉	造形美術	1
"	桐ヶ丘	総合学科	1
"	国立	普通	2
"	小金井北	普通	1
"	小平	普通	2
"	小平西	普通	1
"	小平南	普通	3
"	駒場	普通	1
"	昭和	普通	3
"	砂川	普通	1
"	総合工科	電気・情報デザイン	1
"	第五商業	ビジネス	2
"	田柄	普通	1
"	立川	普通	4
"	田無	普通	1
"	多摩科学技術	科学技術	2
"	多摩工科	デュアルシステム	5
"	多摩工科	環境	2
"	多摩工科	電気	1
"	西	普通	1
"	農業	都市園芸	1
"	拝島	普通	7
"	八王子東	普通	1
"	羽村	普通	3
"	東村山	普通	1
"	東大和	普通	1
"	東大和南	普通	6
"	日野	普通	4

校種	学校名	科・コース	人数
都立	日野台	普通	2
"	富士森	普通	2
"	府中	普通	1
"	府中西	普通	1
"	福生	普通	4
"	南平	普通	2
"	武蔵村山	普通	2
"	若葉総合	総合	1
私立	慶応義塾女子	普通	1
"	啓明学園	普通	1
"	昭和第一学園	普通	2
"	成城学園	普通	1
"	専修大学附属	普通	1
"	拓殖大学第一	普通	4
"	立川女子	普通	1
"	東海大学甲府	普通	1
"	東海大学菅生	普通	1
"	日本体育大学桜華	普通	1
"	八王子	普通	1
"	東野	普通	1
"	文化学園大学杉並	普通	1
"	武蔵野大学	普通	1
"	明星	普通	3
"	早稲田大学高等学院	普通	1
公立	利根商業	普通	1
通信制	ID学園		1
"	あずさ第一		3
"	S		1
"	パンタゲー・ムカデ・ミー		1
"	屋久島おおぞら		1

(2)進路関係の言葉の説明

チャレンジ スクール	昼夜間3部制（午前部・午後部・夜間部）の定時制・単位制・総合学科の高校。働きながら勉強をする生徒や自身の生活リズムに合わせたいという生徒も通いやすい。都立稔ヶ丘高校（中野区）や、令和7年4月から立川地区チャレンジスクール（仮称）が開校。
エンカレッジ スクール	学力検査がなく調査書・自己PRカード面接・作文などで選考される。二人担任制、基本科目は30分授業・定期テストをしない・習熟度別少人数指導などが特色。都立秋留台高校など。
単位制高校	用意された科目の中から自分の興味に応じて科目を選んで学ぶ高校。都立国分寺高校や都立上水高校など。
専門学科	商業・工科・農業など専門的な学科のこと。
総合学科	普通教科だけでなく、工業や商業などを総合的に学ぶ高校。都立つばさ総合・都立晴海総合・都立杉並総合・都立青梅総合など。
コース制	普通科のなかにある。都立片倉高校の造形美術、都立五日市高校のことばと情報、都立小平高校の外国語など。
本校の期待する 生徒の姿	冊子名。各高校が入学してくる生徒に求める高校としての方針。自己PRカードを書くときに十分に参考にしてください。11月頃東京都教育委員会から提示される。
自己PRカード	中学校で取り組んできた学習や様々な活動の中から、志望校に最も伝えたいことを記入して提出するもの。面接をおこなう場合の面接資料として活用したり、学校生活に対する意欲を確認したりする資料になる。面接を実施する高校を志願する生徒は、この自己PRカードを出願時に志願する高校へ提出する。面接を実施しない高校を志願する生徒は、入学手続き後に入学予定の高校へ提出する。
自己申告書 （書類名）	欠席日数について高校に事情を知らせたいときに、この自己申告書を本人の考えで提出することができる。担任と相談してください。
換算内申	2学期の5段階評定から算出。65点（オール5）が満点。（本資料10ページ参照）
素内申	2学期の5段階評定をそのまま合計したもの。45点（オール5）が満点。
総合得点	換算内申と学力検査の点数を方式にしたがって換算し合計した1000点に、英語スピーキングテスト（E-SAT-J YEAR3）の点数を加えたもので、1020点が満点。（本資料10ページ参照）
総合成績	総合得点に、面接・作文・実技などの点数を加えたもの。
比率	学力検査点と調査書点の比率のこと。7：3（6：4）。平成28年度より、全日制の一次募集・分割前期募集は原則7：3に変更になっている。（本資料10ページ参照）
願書取り下げ 再提出	都立で出願した後に倍率などをみて、志望先を変えること。（推薦・定時制にはありません。定時制単位制総合学科は別）
諸活動の記録	調査書に記載される内容の一部。学校行事・生徒会活動・部活動・地域活動・検定での資格等が記載された書類。面接等で使われる。本人、保護者が希望する記載内容をふまえ、中学校で作成する。記載内容に記入する事項を考えておいてください。
調査書	『1・2学期の教科の学習の成績（5段階評定、観点別評価）』『総合的な学習の時間の内容及び評価』『諸活動の記録』『1・2学期の欠席日数』などを学年職員が記載し、受験生が受験校（受検校）に提出するもの。
観点別評価	各教科の観点別学習状況（37観点）にA・B・Cの評価をつけたもの。都立高校の推薦で点数化され利用するところもある。
分割募集	一般入試の募集人員を予め一次募集と二次募集に分けておくこと。（本資料9ページ参照）
一般推薦（都立）	都立の今までの推薦のこと。文化・スポーツ等特別推薦ができたため、分けて呼んでいる。
特別推薦（都立）	文化・スポーツ等特別推薦、理数等特別推薦のこと。

推薦	都立高校・私立高校で行われている入試形態のこと。校内の推薦委員会を通して、最終的には校長先生が行います。どちらも推薦で合格したら必ずその高校へ入学することが大前提である。 (本資料 6 ～ 8 ページ参照)
入試相談	都内の私立高校で推薦入試や一般入試（単願・専願、併願優遇）という制度を利用するときに、中学校教員側が高校に本人の希望と成績などを相談に行くこと。（本資料 8 ・ 1 1 ページ参照）
一般入試 【単願・専願】 第一志望	私立高校の選抜方法の一つ。推薦ではないが、私立高校を第一志望とし、高校側の推薦基準に満たないときに適用される場合がある。合格した場合必ずその高校に入学すること。（本資料 1 1 ページ参照）
一般入試 【併願優遇】 第二志望	私立高校の選抜方法の一つ。都立高校などを第一志望とし、第一志望が不合格の場合に第二志望の高校に必ず行くという制度。（本資料 1 1 ページ参照）
英語スピーキングテスト (ESAT-J)	学習指導要領や都教委の出題方針に基づいて出題される英語スピーキングテスト。事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったりする「話すこと」の成果を評価する。結果は「話すこと」の能力を 6 段階で表示。3 年生で行うものは E-SATJ YEAR 3。

(3) 奨学金制度のお知らせ

*すでに配布してありますが、改めて次頁に掲載します。

詳しいことが知りたい方は、3 学年の教員へご連絡ください。

保護者各位

令和6年度各種奨学金制度のご案内

経済的な理由により修学（高等学校等入学）が困難な方を支援するための以下のような制度があります。制度により、所得制限等の応募要件や募集人数枠等がありますので、詳しくは問い合わせ先にご確認ください。

制 度	募集時期	奨学金（月額）	入学一時金	問い合わせ先
昭島市 給付型奨学金	令和6年9月2日～ 9月17日まで（予定）	高校・高専・専修 20,000円（同種の給付 がある場合は差額支給 ）	高校・高専・専修 80,000円	昭島市教育委員会 教育総務課学務係 042-544-4437
東京都育英資金 （貸付型）	予約募集 令和6年 9月20日まで（学校 を通じて市教育委員 会へ）	公立高校・専修 18,000円 私立高校・専修 35,000円	—	（公財） 東京都私学財団 育英資金担当 03-5206-7929
東京都私立高校等入 学支度金貸付	合格発表後（高校 により異なる）	—	私立高校・高専・ 専修 250,000円	入学しようとする 学校
生活福祉資金 （教育支援資金） （貸付型）	予約申込（学費の納 入期限の2か月前か ら受付）	高専60,000円 高校・専修35,000円	50万円以内	昭島市 社会福祉協議会 042-544-0388
東京都母子及び父子 福祉資金 （貸付型）	随時 （受験する学校 が決まり次第、担当 へ相談を）	公立高校・専修27,000 円 公立高専31,500円 私立高校・専修45,000 円 私立高専48,000円	公立高校・専修 16万円 公立高専 42万円 私立高校・専修 42万円 私立高専 59万円	昭島市子ども家庭 部子ども未来課 042-544-5111 （内）2895～2198
交通遺児育英会 （無利子貸与）	予約募集 1次令和6年8月31日 2次令和7年1月31日	高校・高専・専修 20,000円、30,000円、 40,000 円から選択	高校・高専・専修 20万円、40万円、60 万円から選択	（公財）交通遺児 育英会 0120-521286
あしなが育英会 （病気・災害・自死遺 児等が対象） （給付・無利子貸与）	予約募集 令和6年9月1日から令 和7年12月15日まで （消印有効）	高校・高専 30,000円（給付）	私立高校 30万円（無利子貸与）	（一財）あしなが 育英会 0120-77-8565
まごころ奨学金 （給付型） （保護者が犯罪被害 に遭われた方が対象）	随時（申請書類を日 本財団より取り寄せ か、ホームページよ りダウンロード）	公立高校・高専・専修 17,000円 私立高校・高専・専修 25,000円	高校・高専・専修 50,000円	日本財団 まごころ奨学金係 03-6229-5111
昭島市育英会 （貸付型）	令和7年1月（予定）	公立高校・高専・専修 10,000円 私立高校・高専・専修 20,000円	— 私立高校・高専・ 専修 30万円	昭島市教育委員会 教育総務課学務係 042-544-4437

公立＝国・公立 高校＝高等学校 高専＝高等専門学校 専修＝専修学校